



http://peta-peta.net/msd_bluet_01.htm



Webサイトでも作り方を公開しています。
ぜひ、併せてご覧ください。

peta-peta Pattern design by Yossy

HP: <http://peta-peta.net>
Mail: info@peta-peta.net



HOW TO MAKE

peta-peta pattern set
vol.13

BLUET



材料・参考用尺(MSDサイズ)

◇ワンピース

- ・表地/綿ロンドット柄110cm巾×70cm
- ・別布(ヨーク・衿)綿ロン白110cm巾×30cm
- ・ヨーク用リバーレース3.5cm幅×10cm
- ・ヨーク・袖口・裾フリル用リバーレース0.8cm幅×285cm
- ・ヨーク用ケミカルレース1.2cm幅×40cm
- ・スカート用平チュールレース13cm幅×105cm
- ・袖口用平チュールレース7cm幅×40cm
- ・スカート裾フリル用トーションレース0.6cm幅×220cm
- ・ウエスト切替用トーションレース0.7cm幅×40cm
- ・袖口用4コールゴム6cm×2本
- ・スナップボタン5~6mm×8個

◇コルセット風ベルト

- ・表地/シルクシャンタン110cm巾×10cm
- ・別布/リバーレース地110cm×10cm
- ・裏地/綿ブロード等110cm×10cm
- ・ブレード、レース各種適量(パターン参照)
- ・薄手の面ファスナー(マジックテープ)

- ・60番ミシン糸各色
- ・15mm幅伸止めテープ、薄手のニット芯 適量
- ・装飾用ビーズ、チャーム等適量



maschera by Edera

SDM男子ボディを元にパターンを製作しています。
縫製方法や使用する生地によっては、着用しにくくなる場合があります。予めご了承ください。

ザビエルヨークワンピース 作り方

※解説の写真はサンプル縫製時に撮影している為、一部実際のパターンとバランスが異なる部分があります。



1 台衿生地は、最初に接着芯を貼ってから裁断します。すべてのパーツが裁断出来たら、前後みごろのタックぬい止まりと前後スカートの上フリル付け位置に、しるしつけ(切りじつけ)をします。ヨークは後ろ端側にテープ芯を貼り、裏表それぞれ肩をぬい合わせぬいしろは割り、表ヨークには飾りのレースを手ぬいでつけ、裏ヨークはみごろ側に来るぬいしろを仕上げり位置で折り、ステッチで押さえておきます。裏台衿のえりぐり側ぬいしろも同様に折り上げておきます。



2 衿のフリルは半分に折りギャザーをよせて、台衿に挟み込んでぬいあわせ、フリル衿を作っておきます。ぬい合わせ後、フリルのぬいしろは半分くらいの幅にカットしてから表に戻します。前後みごろはそれぞれタックを一本ずつ折り目をつけながらぬい止まりまでぬい、後ろ端ぬいしろは伸び止めテープ芯を貼ってロック始末。仕上げり位置で二つ折りにしてアイロンをあてておきます。



3 袖を作ります。肩側にはギャザーミシンを入れておき、袖口側には表面に平チュールレースを上表に置き、袖口ぬいしろに仮止めミシンを入れてから、見返しで袖口をぬい返し、コバステッチ、ゴム通し部分のステッチをそれぞれ平行に入れます。袖口にリバーレースを手縫いで付けてから、ゴムを通し、両端は針目を細かくしたミシンで、ゴムが抜けないようにしっかりぬい止めておきます。



4 ヨークは中表に重ねて後ろ端をぬい、表に戻しアイロンで整えます。えりぐりは2枚がずれないようにステッチでとめておきます。表台衿をえりぐりに中表に重ねて合印をあわせながら、しつけ(手縫い)で仮止めたのち、ミシンでぬい合わせます。表から見て大きくゆがんでいないか、ヨークをぬいこんでいないか等チェックして、問題がなければ先に進みます。気になるところがあれば、ほどこいて縫い直してください。(細かい所なので、ミシンが困難であれば手縫いで付けてもOK。)



5 上手く台衿がぬい合わせられたら、ぬいしろの幅を半分くらいの細さにカットし、カーブしている部分に1cm間隔くらいでぬいしろに切り込みを入れます。ぬいしろを台衿側に倒すように形を整え、裏台衿をヨークのえりぐりにまつりぬいして、ぬいしろを隠します。その後、お好みで表側から台衿にコバステッチを入れます。ミシンの針目を細かくするときれいです。



6 ヨークの肩線のぬいしろが浮かないように、裏側から星止めをしておきます。(表からは見えないように、裏ヨーク+裏ヨークぬいしろ+表ヨークぬいしろだけをすくって、小さく半返しぬいをします。)



7 前後みごろと袖をそれぞれ中表にしてぬいあわせ、ぬいしろはその都度ロックミシンで始末し、みごろ側に倒しておきます。袖の形状には前後がありますので、目印をつけて、前後や表裏を間違えないように注意してください。



8 みごろ&袖とヨークを中表にぬい合わせます。後ろ端から合印を合わせながら、袖山にはギャザーを均一によせて、仮止めたのち、ミシンでぬい合わせます。この部分も、タックの倒し向きのずれや縫い込みなどがなければチェックして、問題がなければ先に進みます。



9 みごろ本体と表ヨークを接ぎ合わせたら、ヨーク側にぬいしろを倒してアイロンで押さえ、ぬいしろを覆い隠すように裏ヨークをまつりぬいます。ぬい縮めてしまわないように、ゆるめにまつると良いです。その後、表からヨーク側にコバステッチを入れます。



10 スカートを前後脇を中表に重ねて接ぎ合わせ、ぬいしろはロック始末のち、後ろ側に倒します。後ろ端には伸び止めテープ芯を貼っておきます。幅広の平チュールレースの上部にぐしぬいを入れておき、スカラップをスカートの形状に合わせて平行に置き、手縫いでスカート地にレースをつけます。ウエスト側はぐしぬいで調節して、カーブに合わせてミシンでとめておきます。後ろ端は、生地とレースを一緒にロック始末二つ折り。



11 裾のフリル布は、脇や中心の接ぎ部分のぬいしろをロック始末したのち、中表に接ぎ合わせ、ぬいしろを割り、前後合わせて一本の帯状にしておきます。上段フリルは、上下端ともロック始末二つ折りでステッチをかけ、下側にトーションレース。下段フリルは、裾を三つ折りにしてステッチをかけ、リバーレースを表から付けます。2本とも、ギャザーミシンを入れておきます。



12 まずスカートの裾に下段フリルを、合印を合わせながらギャザーをよせ中表に重ねて接ぎ合わせ、ぬいしろにロックミシンをかけて、スカート側にぬいしろを倒しコバステッチをかけて押さえます。次に、上段フリルを合印に合わせながら、ギャザーをよせて表からたたきつけます。上段フリル付け位置はきりじつけをしておいた箇所捨てミシンを一本入れて、それを目印に付けても良いです。



13 袖口～脇の下～みごろ脇を中表に合わせて脇をぬい合わせます。合印を合わせてずれないように注意します。その後ぬいしろにロックミシンをかけ、後ろ側に倒しておきます。ロックミシンの糸端はかがり目に通して糸始末しておきます。袖口のぬいしろは、倒した方向に数針まつりぬいして押さえておくと仕上がりがきれいです。



14 ウエスト部分でみごろとスカートを中表に接ぎ合わせます。後端は、みごろ側のぬいしろで中表に包むようにしてぬい合わせ、後～前～後と、合印を合わせながらギャザーをよせて、みごろとスカートを接ぎ合わせます。ウエスト部分のぬいしろにもロックミシンをかけて、みごろ側に倒し、表からコバステッチをかけて押さえます。



15 お好みで、ウエスト切替部分に表からトーションレースを縫いつけます。ヨーク切替にはケミカルレースを手縫いでつけます。

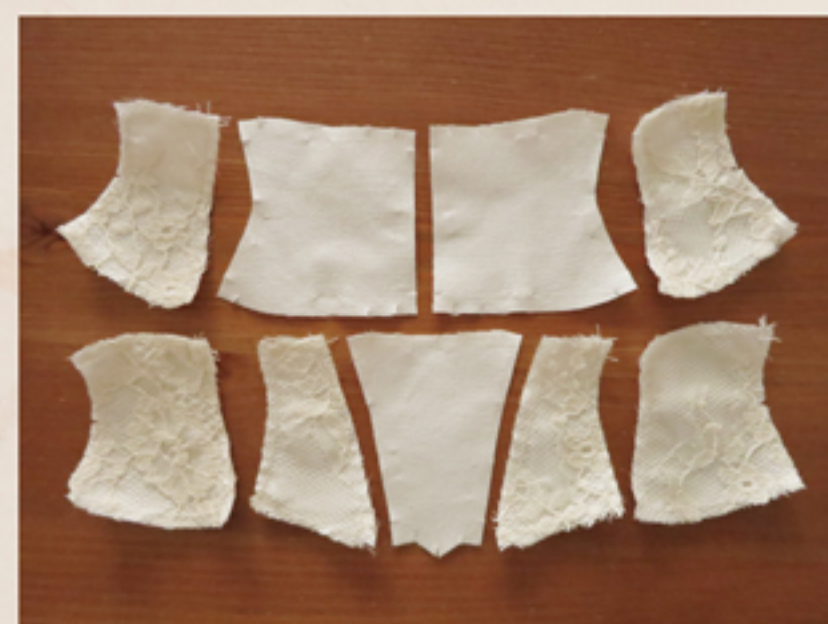


前みごろのタック止まりにしずく型ビーズをとめつけ(ビーズ刺繍用の細い針を使用します)後ろあき部分にスナップボタンを付けて完成です。(後ろは全あきになります。)



コルセット風ベルト 作り方

※解説の写真はサンプル縫製時に撮影している為、一部実際のパターンとバランスが異なる部分があります。



1 表地(シルクシャンタン)は全裏面に接着芯を貼ってから、裁断、ノッチ入れをします。
表面に重ねるリバーレース地は、柄の出方を確認しながら1ピースずつ裁断し、表地に重ねて、ぬいしろをミシンで押さえておきます。後中心、前中心はレースを重ねずに、表地の表面が見えるように作ります。
裏地も同様に裁断、ノッチ入れをしておきます。



2 すべてのパーツを接ぎ合わせ、ぬいしろのカーブした部分には切り込みを入れ、片倒しにしてコバステッチまたはコバ+0.15cm程度のWステッチを入れます。
表地は、ステッチが入る方にぬいしろを倒します。パターンを参照してください。
前中心、後中心の切替部分には飾りのトーションレースをたたきつけ、前中心と前中心脇の切替にはリバーレースをつけておきます。



3 裏地も同様に接ぎ合わせますが、ぬいしろは表地とはすべて逆方向に倒します。カーブには切り込みを入れます。



4 表地と裏地を中表に重ねて、ずれないように上下をぬい合わせます。返し口にするため、片方の後端は開けておきます。
上下のぬいしろは半分くらいの細さにカットして、カーブには切り込みを入れ、返し口からペンチなどを使ってゆっくり表に戻します。



5 表に戻したら、返し口をきれいに折り込み、まつりぬいで閉じます。
上下端をしっかりと表に出し、全体の形を整えてから、表からぐるりとコバステッチをかけます。



6 ブレード類を丁寧に付けていきます。
上下のブレードは、端がほつれないようにしっかりかがってから、コバステッチに沿って垂直にぬい針を刺してとめつけていきます。
ぬいしろが重なる部分はかなり固くなりますので、針が貫通しないような固い台等を使って、針を垂直に押し込むようにしてゆっくり刺していきます。針を折りやすい工程なので注意してください。



7 飾りのビーズやチャームは、ビーズ刺繍用の細い針を使って刺します。前中心は、裏地まで貫通させてとめると、形が安定します。



8 後中心に面ファスナー(マジックテープ)をぬいつけて完成です。付け位置は、1度試着させてみてから調整すると良いです。
※ワンピースやブラウスの上からの着用を前提にしてありますので、ヌードボディに合わせると、ゆとりがあります。この段階の面ファスナーを付ける際に、後端の片方を折り込む等して、お好みのフィット感に微調整してください。